

# 第54回 中国四国リハビリテーション 医学研究会

## 第49回 日本リハビリテーション 医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期 2023年 8月6日(日)

会場 米子コンベンションセンター

会長 森本 兼人

医療法人友誼会 皆生温泉病院 院長

第54回中国四国リハビリテーション医学研究会  
第49回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会  
開催にあたって

第54回中国四国リハビリテーション医学研究会  
第49回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 森本 兼人

医療法人友紘会 皆生温泉病院 院長

この度第54回中四国リハビリテーション医学研究会、第49回日本リハビリテーション医学会中国四国地方会を開催させていただきます、医療法人友紘会 皆生温泉病院の森本兼人です。

COVID-19第8波が到来後ようやく沈静化にすすむ様相を呈してきました。

そのような中、政府は経済を優先し人の往来を制限無く観光を進めているようです。当地は米子駅から30分以内に山あり海あり、また米子城跡からの日本海の絶景など風光明媚です。暑い中ではありますが、本年2023年8月6日現地開催とさせていただきます。

特別講演では最近高齢者の介護増加あるいは寝たきり状態の増加が問題となっており、いかに予防策がとれるかなど、また四肢の不全麻痺状態をいかに早期に強制的に動かすなど、講演2演題を予定しています。特別講演Ⅰは高田信二郎先生（独立行政法人国立病院機構 徳島病院整形外科・リハ科・総合リハセンター・ロボットリハセンター、徳島大学 臨床教授）の「神経筋疾患に対するロボットリハビリテーションの展開と将来展望—サイバネティック・アバターの応用—」、特別講演Ⅱは萩野浩先生（山陰労災病院 副院長・前 鳥取大学 医学部 保健学科 教授）の「転倒・骨折予防～基礎知識から最新のトピックまで～」と題したご講演をいただきます。

会場は米子コンベンションセンターで米子駅から徒歩数分以内で、駐車場は会場の向かいにあり収容台数は700台あります。多職種が集う有意義な場でもありますので是非多くの参加者を期待しております。

# ご 案 内

## 1. 参加者の皆様へ

- 1) 当日は備え付けの参加登録票<sup>\*</sup>に必要事項を記入し、受付で参加手続きをしてください。  
※参加登録票 (PDF) は学会ホームページからも事前にダウンロードできます。
- 2) 受付にて参加費3,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。
- 3) 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、当日は抄録集をご持参ください。抄録集をお忘れの場合は、1冊500円にて販売させていただきます。
- 4) 各学会の研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。
- 5) 中国四国リハビリテーション医学会研究会に入会を希望される方は新入会受付にて手続きを行ってください。(日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会の当日受付はありません)。
- 6) 学部学生(大学院生を含む)及び専門学生は参加費が免除になります。受付で学生証(身分証)を提示ください

## 2. 演者の皆様へ

- 1) Windows 版 Microsoft PowerPoint2019で再生可能なファイルで作成してください。
- 2) スライドショーでのスライド枚数に制限はありませんが、6分の発表時間に収まるように調整してください。討論時間は3分です。
- 3) 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint ファイルは、ファイル名を「演題番号 + 氏名 + 地方会または研究会」としてください(例:006、鳥取花子\_地方会)。
- 4) 使用フォントは Windows 基本 OS に標準搭載のフォントを使用してください。特殊フォントや機種依存文字は使用しないでください。スライドサイズはワイド画面(16:9)にて作成してください(標準画面4:3で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- 5) ファイル作成後、他のパソコンで正常に作動するかチェックしてください。ファイルのアップロード前に最新のウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。ファイルは2023年6月30日(金)までにアップロードしてください。
- 6) 登録後に修正が発生した場合は、必ず事務局へ連絡後に再アップロードしてください。修正期限は2023年6月30日(金)までとさせていただきます。期日以降のスライド修正は受け付けませんので、あらかじめご了承ください。  
※ご連絡がない場合は修正前のファイルでのご発表になる場合があります。
- 7) 登録頂いたファイルは、本会終了後に事務局が責任をもって消去します。

- 8) 事前登録されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドの当日試写はありません。  
また、学会当日にスライド変更の受け付けはいたしませんので、あらかじめご承知おきください。

### 3. 座長及び演者の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席、次演者席にお着きください。座長の皆様には各ご担当セッション内で活発な討議がおこなわれますよう、お取り計らいください。

### 4. リハビリテーション科専門医・認定臨床医の皆様へ

本会では、生涯研修単位を、学会参加でリハビリテーション科専門医は1単位、認定臨床医は10単位、特別講演Ⅰ、Ⅱでリハビリテーション科専門医は各1単位、認定臨床医は各10単位合計でリハビリテーション科専門医は最大3単位、認定臨床医は最大30単位を取得できます。なお、特別講演にて単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。また、地方会発表の筆頭者はさらに、リハビリテーション科専門医は1講演1単位、認定臨床医は1講演10単位が取得できますので、「専門医・認定臨床医単位取得自己申請用紙」に添付して「発表等の証明となるもの」もしくは「抄録集の表紙および抄録掲載頁のコピー」を日本リハビリテーション医学会事務局へ送付してください。

### 5. 日本整形外科学会専門医の皆様へ

特別講演の受講により日本整形外科学会教育研修単位(1単位)の取得が可能です。単位取得をご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いのうえ、各講演の開始時刻の前後10分間に、第1会場入り口付近の単位申請受付用コンピューターのカードリーダーに日整会会員カードを通して申請登録をしてください。

セッション名	時間	会場	演題名・演者名	日整会	
				取得単位	必須分野
特別講演Ⅰ	10:50～ 11:50	第1会場	神経筋疾患に対する ロボットリハビリテーションの展開と将来展望 —サイバネティックアパターの応用— 高田 信二郎	N	8, 13
特別講演Ⅱ	13:45～ 14:45	第1会場	転倒・骨折予防 ～基礎知識から最新トピックまで～ Falls and Fracture Prevention—from basic knowledge to the latest topics 萩野 浩	N	4, 13

(受講者へのご案内)

- 日整会会員証カードを必ずご持参ください。
- 単位の反映のタイミングに時間がかかる場合がございます。
- 研修会の単位は認定されたN(整形外科専門医資格継続のための単位)の分野のうち、小さい番号の必須分野に自動的に入ります。他の必須分野や認定医継続のための単位(S、R、SS、Re)を希望される受講者は、開催日より1週間後以降に単位振替システム上で受講者ご自身で希望単位へ振り替えていただく必要があります。

## 6. 理学療法士の皆様へ

日本理学療法士協会生涯教育基礎研修のポイントは取得できません。

## 7. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加者本人が参加証明書(領収証)を添付資料として、会員ポータルサイトから受講履歴登録を行ってください。

## 8. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの参加・発表で各1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に、本会 WEB 配信ページ上にてダウンロードいただいた参加証明書や領収証(コピー可)を日本言語聴覚士協会事務所までご提出ください。

## 9. セラピストマネージャー認定看護師の皆様へ

回復期リハビリテーション看護師・認定セラピストマネージャー認定資格更新のためのポイント付与対象になります。参加者ご自身で各コースポイント申請月に申請手続きをお願いします。(回復期リハビリテーション看護師認定者は8月、セラピストマネージャーは1月)ポイント申請の手続き方法はオリエンテーションテキストまたは、ホームページ専用サイト「リハ看護師の広場」、「セラピストマネージャーの広場」にてご確認ください。

## 10. 理事会・幹事会のご案内(12時00分～13時00分)

役員の皆様は、12時00分に第1会議室(同館3階)にて行いますのでお集まりください。

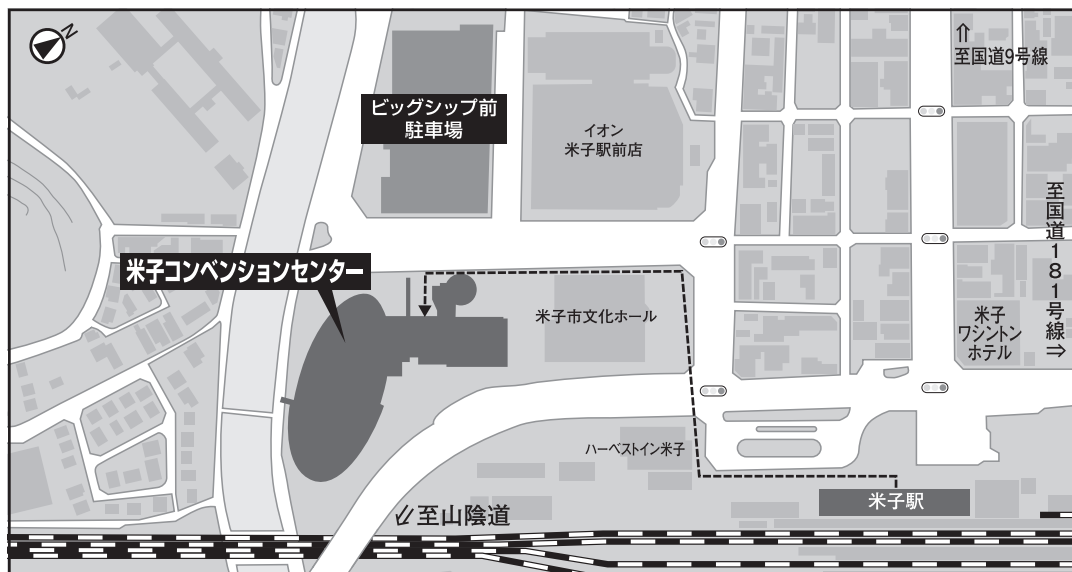
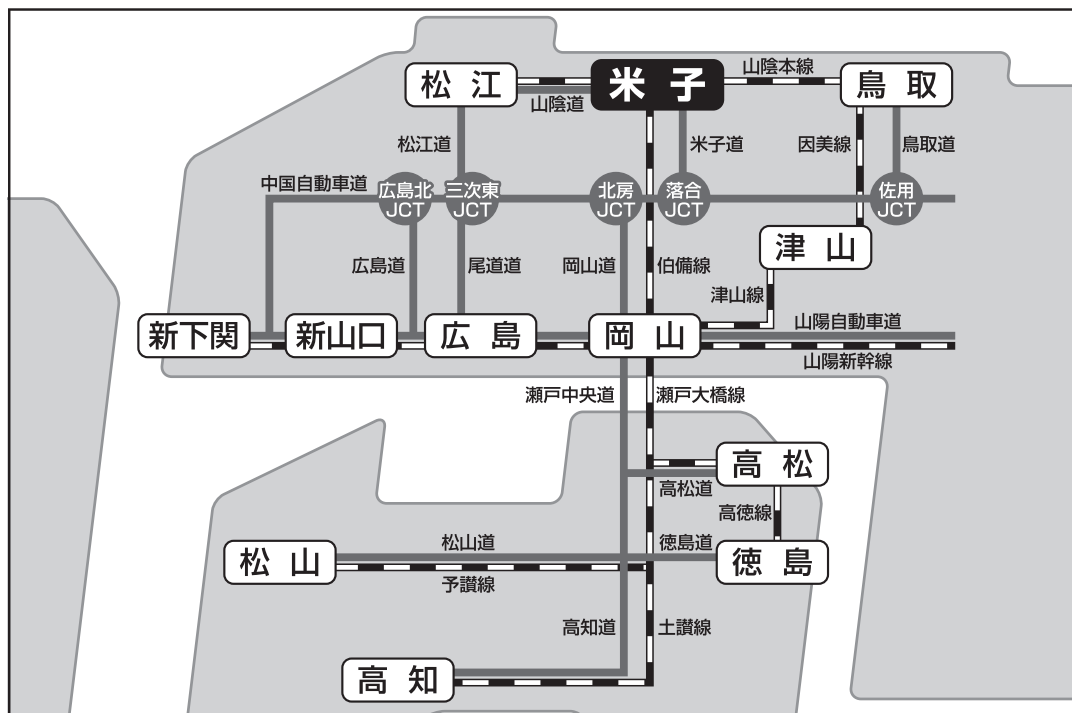
## 11. 総会のご案内(13時10分～13時40分)

13時10分までに、第1会場(国際会議室)にて開催しますのでお集まりください。

## 12. 駐車場について

会場前の専用立体駐車場(700台完備)をご利用ください。  
(駐車場の発券を、会場の割引認証機に通して頂くと会期時間内は無料となります。)

# 交通案内図



## 米子コンベンションセンター

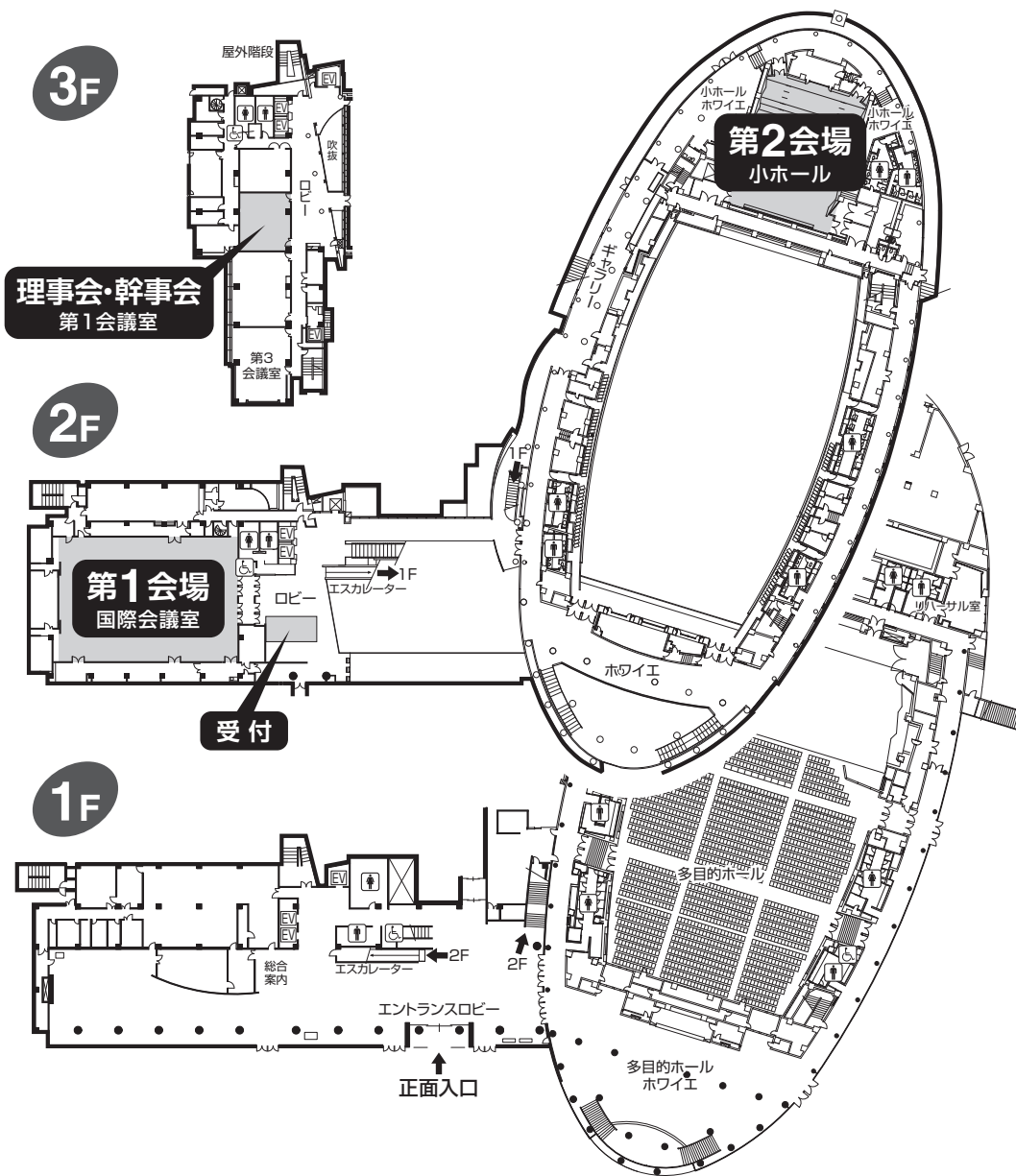
〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL : 0859-35-8111 FAX : 0859-39-0700

## 駐車場のご案内

ビッグシップ前駐車場(米子駅前簡易駐車場)に駐車された方は駐車券をご持参ください。会場内に設置いたします。割引認証機にお通しいただきますと、開催時間内は駐車料金が無料になります。※その他の近隣有料駐車場の割引は適用されません。

# 会場案内図

米子コンベンションセンター



# 日 程 表

8月6日(日) 米子コンベンションセンター

	第1会場 2F 国際会議室	第2会場 2F 小ホール	役員会会場 3F 第1会議室	展示会場 2F 通路
8:30	8:30~ 受付			
	8:50~ 開会挨拶			
9:00	9:00~9:45 地方会 1 (29~33) 座長：竹中 晋	9:00~9:45 研究会 1 (1~5) 座長：山崎 祐輔		9:00 } 16:00  企 業 展 示
10:00	9:50~10:35 地方会 2 (34~39) 座長：大谷 侑資	9:50~10:44 研究会 2 (6~11) 座長：高梨 悠一		
11:00	10:50~11:50 特別講演 I 高田 信二郎 先生 座長：尾崎 まり			
12:00			12:00~13:00 理事会・幹事会	
13:00	13:10~13:40 総会			
14:00	13:45~14:45 特別講演 II 萩野 浩 先生 座長：森本 兼人			
15:00	14:50~15:44 地方会 3 (40~45) 座長：武田 知加子	14:50~15:44 研究会 3 (12~17) 座長：清水 洋子		
16:00	15:50~16:44 研究会 4 (18~23) 座長：和田 崇	15:50~16:35 研究会 5 (24~28) 座長：永見 忠志		
17:00	16:50~ 閉会挨拶			



# プログラム

**開会挨拶** 8:50～8:55 第1会場(国際会議室)

大会長 森本 兼人(医療法人友誼会 皆生温泉病院 院長)

**研究会1** 9:00～9:45 第2会場(小ホール)

座長：山崎 祐輔(YMCA 米子医療福祉専門学校 理学療法士科)

- 01** 腰部脊柱管狭窄症患者における術前の腰椎動作と手術成績との関連  
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 和田 崇 18
- 02** 橈骨遠位端骨折術後3ヶ月の握力に影響する因子  
～術後1ヶ月の手関節機能との関連性～  
医療法人社団おると会 浜脇整形外科リハビリセンター  
リハビリテーション科 伊賀 徹平 20
- 03** 腰椎従来型手術と内視鏡手術による術後経過の比較検討  
医療法人社団おると会 浜脇整形外科リハビリセンター  
リハビリテーション科 橋尾 理沙子 22
- 04** 腰部脊柱管狭窄症患者の術後遺残腰痛と脊柱起立筋筋肉量との関連  
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 橋田 勇紀 24
- 05** 腰部脊柱管狭窄症でトレンデレンブルグ徴候陽性となった症例に対し、  
閉鎖運動連鎖での運動が奏功した一例  
医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 藤坂 佳澄 26

**研究会2** 9:50～10:44 第2会場(小ホール)

座長：高梨 悠一(YMCA 米子医療福祉専門学校 作業療法士科)

- 06** 脳卒中患者の移動能力において家族のイメージにギャップが生じた症例  
医療法人友誼会 皆生温泉病院 リハビリテーション部 荒瀧 諭 28
- 07** 模擬講義を行うことで大学教授としての社会復帰を目指した一症例  
～多疾患罹患への対応を踏まえて～  
社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 北山 朋宏 30
- 08** 脳卒中を有する患者におけるデュアルタスクによる  
座位ステップング中の前頭前野活性化  
社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院  
リハビリテーション技術部 野坂 進之介 32

- 09** 作業療法の必要性を共有することで、夜間の排泄動作が改善した症例  
～行動変容ステージモデルからみた考察～  
医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 石井 ほのか 34
- 10** 「トイレに間に合うように行きたい」の気持ちに寄り添って  
～排泄行動の反復練習を通して自宅退院した一例～  
医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 林 日菜子 36
- 11** 当院における排尿ケアチームの多職種連携によって尿失禁が改善した一例  
広島大学病院 診療支援部リハビリテーション部門 廣田 智弘 38

**研究会3** 14:50～15:44

第2会場(小ホール)

座長：清水 洋子(鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 言語聴覚士)

- 12** 当院回復期リハビリテーション病棟の高齢入院患者における  
コロナ禍の在宅復帰率とADL能力に関する研究  
医療法人友誼会 皆生温泉病院 リハビリテーション部 表 昌志 40
- 13** 多職種と連携し舌接触補助床装着により嚥下障害の改善を認めた一症例  
島根県立中央病院 リハビリテーション技術科 野津 一步 42
- 14** 自宅生活の早期実現に向けて訪問リハビリテーションとの連携を行い、  
退院に至った一例  
医療法人 誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 渡部 朱美 44
- 15** 回復期病棟および地域包括ケア病床患者における  
COVID-19クラスターが栄養状態、日常生活動作へ及ぼす影響  
大山リハビリテーション病院 リハビリテーション部 石川 衛 46
- 16** 感覚性失語患者に対する親密語を中心とした言語療法により  
コミュニケーション能力の改善を認めた一例  
医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 石川 愛央衣 48
- 17** 運動器疾患における摂食嚥下障害の要因  
社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 言語聴覚科 平垣 義志也 50

座長：和田 崇(鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部 理学療法士)

- 18 パーキンソン病首下がり症候群に対する姿勢 alignment 調整の理学療法の検討  
養和病院 リハビリテーション課 土中 伸樹 52
- 19 フットチームの活動報告  
鳥取県中部医師会立三朝温泉病院 リハビリテーション科 別所 大樹 54
- 20 動作時の後方重心に対して治療を行ったが、  
恐怖心が消失せずに歩行の獲得に至らなかった症例  
医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 棟長 ほのか 56
- 21 足底の痺れを呈した症例に対して  
突起物を用いた感覚刺激を行い歩行能力向上を図った一例  
医療法人誠和会 倉敷記念病院 リハビリテーション部 池田 真帆 58
- 22 超高齢大腿骨近位部骨折患者における自立歩行再獲得に影響する因子  
医療法人共済会 清水病院リハビリテーション課 阪本 次郎 60
- 23 活動座位に着目した結果、姿勢安定性が向上した成人脳性麻痺患者の一考察  
医療法人養和会 養和病院 リハビリテーション課 櫻井 みほ 62

座長：永見 忠志(医療法人友誼会 皆生温泉病院 リハビリテーション部 作業療法士)

- 24 通所リハビリテーション利用者に対するウェアラブルデバイスを用いた  
情報フィードバックの試み  
社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院  
リハビリテーション技術部 杉原 健太郎 64
- 25 視線入力装置利用の現状と有用性について  
社会福祉法人 東部島根医療福祉センター リハビリテーション技術科 天倉 知之 66
- 26 クライシスプランを用いたパーキンソン病患者のその後  
～チームアプローチの促進～  
松江医療センター リハビリテーション科 佐々井 玄德 67
- 27 自動車運転再開に影響する要因  
～運転評価結果における検討～  
社会医療法人同愛会 博愛病院 リハビリテーション部 野々村 賢 68

## 28 産後ケア外来チームの活動報告

鳥取県中部医師会立三朝温泉病院 リハビリテーション科 長田 きらり 70

### 地方会1 9:00~9:45

第1会場(国際会議室)

座長：竹中 晋(医療法人友誼会 皆生温泉病院 リハビリテーション部長)

## 29 Egocentric disorientation を伴わない新規の場所での道順障害の一例

錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション科 井後 雅之 72

## 30 外傷性くも膜下出血後の患者に運転再開の評価を行った1例

広島大学 急性期リハビリテーション地域連携研究講座 樽田 美穂 74

## 31 超急性期から一貫してリハビリテーション治療に関わった 脳梗塞合併多発骨折の一例

広島大学病院 リハビリテーション科 岡 祐一朗 76

## 32 当院における転倒・転落対策の取り組み： 転倒・転落対策チーム発足を中心に

徳島大学病院 リハビリテーション部 佐藤 紀 78

## 33 入院時尿道カテーテル留置脳卒中患者の排尿自立支援加算導入前後での検討

伊予病院 リハビリテーション科 高橋 真司 80

### 地方会2 9:50~10:35

第1会場(国際会議室)

座長：大谷 侑資(医療法人養和会 養和病院 診療部長)

## 34 ステロイド治療が奏功した COVID19 感染後間質性肺炎の一例

医療法人社団八千代会 メリィホスピタル リハビリテーション科 上田 健人 82

## 35 演題取り下げ

## 36 抗 MDA5 抗体陽性急速進行性間質性肺炎患者において リハビリテーション治療を行った2例

鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション科 阪本 綾子 86

## 37 帯状疱疹ウイルスによる第Ⅷ、Ⅸ、Ⅹ、Ⅺ脳神経障害で 高度嚥下障害を呈した1例

社会医療法人同愛会 博愛病院 脳神経内科 足立 晶子 88

- 38** 老人性嚥下機能低下に対する舌トレーニング用シート状サプリメントを用いた嚥下訓練の効果検討  
川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 山本 五弥子 90
- 39** 当院の嚥下サポートチームの取り組み  
倉敷中央病院 リハビリテーション科 山田 裕子 92

**地方会 3** 14:50～15:44 第1会場(国際会議室)

座長：武田 知加子(鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

- 40** 70歳以上の高齢軟部肉腫患者における予後予測因子の検討  
岡山大学病院総合 リハビリテーション部 村田 涼 94
- 41** 術前患者のロコモ、フレイル、サルコペニアについて  
岡山大学病院総合 リハビリテーション部 堅山 佳美 96
- 42** ロコモ度テストに新規 AI 画像解析アプリを導入した6例  
広島大学病院 リハビリテーション科 笹山 裕貴 98
- 43** 進行性核上性麻痺における生体組成と ADL の相関についての検討  
鳥取大学医学部附属病院 脳神経内科 竹内 裕彦 99
- 44** 被殻出血後の尖足変形に対し装具歩行の改善を目指した整形外科的選択的瘻性コントロール手術を行った一例  
鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション科 椋 大知 100
- 45** 歩行不能な重度心身障害児に対する ITB 療法  
山陰労災病院 脳外科 近藤 慎二 101

**特別講演 I** 10:50～11:50 第1会場(国際会議室)

座長：尾崎 まり(鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部長)

[ 神経筋疾患に対するロボットリハビリテーションの展開と将来展望  
—サイバネティックアバターの応用— ]

高田 信二郎 先生 独立行政法人国立病院機構 徳島病院 整形外科、リハビリテーション科、  
総合リハビリテーションセンター・ロボットリハセンター、外科系診療部長  
徳島大学 臨床教授

**理事会・幹事会** 12:00～13:00

役員会会場(第1会議室)

**総会** 13:10～13:40

第1会場(国際会議室)

**特別講演Ⅱ** 13:45～14:45

第1会場(国際会議室)

座長：森本 兼人(医療法人友誼会 皆生温泉病院 院長)

[ 転倒・骨折予防

～基礎知識から最新トピックまで～

Falls and Fracture Prevention-from basic knowledge to the latest topics ]

萩野 浩 先生 山陰労災病院 副院長、リハビリテーション科 部長

**閉会挨拶** 16:50～16:55

第1会場(国際会議室)

大会長 森本 兼人(医療法人友誼会 皆生温泉病院 院長)

## 神経筋疾患に対する ロボットリハビリテーションの展開と将来展望 —サイバネティックアバターの応用—

独立行政法人国立病院機構 徳島病院  
整形外科・リハビリテーション科・ロボットリハビリテーションセンター

○高田 信二郎

---

神経筋疾患を原因とする運動機能障害は、慢性かつ進行性である。リハビリテーション医学の先人達は、神経筋疾患患者の運動機能の維持や改善のために、その当時最新の研究成果と科学技術とを駆使してきた。

2015年は、神経筋疾患に対する先進的リハビリテーションであるロボットリハビリテーションの黎明の年となった。サイバーダイン株式会社製装着型サイボーグ HAL<sup>®</sup> 医療用下肢タイプ(以下、HAL とする)が、2012年から実施された厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業)「希少性難治性疾患—神経・筋、難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装置型補助ロボット(HAL-HN01)医師主導治験の実施研究」(研究代表者 独立行政法人国立病院機構 新潟病院 中島孝)の成果をもとに医療機器として薬事承認されたのである。その翌年、HAL を用いた歩行訓練が筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、封入体筋炎、遠位型ミオパチー、先天性ミオパチー、シャルコー・マリー・トゥース病の計8疾患を対象とした歩行運動処置として医療保険適用となった。

2014年、独立行政国立病院機構 徳島病院は総合リハビリテーション内にロボットリハビリテーションセンターを付設した。現有するロボットは HAL3台、Honda 歩行アシスト1台、エルエーピー株式会社パワーアシストハンド1台である。

---

HAL を用いた歩行訓練では、転倒を予防するために歩行器を用いる。本院では免荷機能付き歩行器である ROPOX 社製 All in One を2台、モリトー株式会社製 POPO を1台保有している。また、ロボットを装着したトレッドミル上での歩行訓練では、BIODEX 社製 Unweighing System を用いて患者を懸垂固定している。

2020年、内閣府ムーンショット型研究開発制度の中でサイバネティック・アバターの概念が提示された。サイバネティック・アバターは、身代わりとしてのロボットや3D映像等を示すアバター(分身)である。2030年までには、汎用型人工知能(AGI)と第6世代移動通信システム(6G)が開発される。6G環境下、AGIで制御されたサイバネティック・アバターは現状のロボットの性能と機能を遥かに凌駕する。私はこれら革新的技術を応用した先進的リハビリテーション治療は、神経筋疾患患者の運動機能障害 ADL そして QOL の飛躍的改善をもたらすことを確信している。



第54回中国四国リハビリテーション医学研究会  
第49回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会  
プログラム・抄録集

---

会 長：森本 兼人

事務局：医療法人友誼会 皆生温泉病院

野々村 茂昭

〒683-0002 鳥取県米子市皆生新田3-7-8

FAX：0859-32-9119

E-mail：rehakaik@sunny.ocn.ne.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>

